

## 鳥取県立図書館からの報告

(対象期間：令和5年12月～令和6年11月)

(報告者) 鳥取県立図書館

郷土資料課 安藤 理恵

### 1. 資料展示

#### (1) 特別資料展示 (特別資料展示室における展示)

	期間	タイトル	入場者
令和6年度	8/24～9/29	「平安時代の物語文学—読み継がれた源氏物語と池田亀鑑—」展	約600人

#### (2) ミニ展示・企画展示 (郷土資料室及び一般図書室の展示スペースを利用した展示)

	期間	タイトル
令和5年度	4/1～5/10	鳥取を知るならこの1冊～新しく鳥取に住む方へ～ (企画展示)
	5/1～5/30	鳥の本を楽しもう～5月10日～16日は愛鳥週間～ (企画展示)
	6/1～6/29	定有堂「読む会」フォーラム関連図書展示 (一般図書室)
	6/9～7/12	ふるさととっとりパーソン (企画展示)
	7/14～8/30	戦後78年～戦争と平和を考える～
	8/11～9/17	郷土文化講演会関連展示 阪本四方太と同時代の俳人達
	9/1～9/29	鳥取大地震から80年 (企画展示)
	9/27～12/27	ブギウギ～脚本は倉吉市出身の足立紳さん～ (ミニ展示)
	10/3～10/30	本で楽しむ鳥取城 (企画展示)
	11/1～12/13	追悼 ありがとう 岩田廉太郎さん (企画展示)
	12/1～1/21	鳥取県教育の父 遠藤董
	12/15～1/21	年末年始を紙とともに
	2/2～3/30	水木しげるロード開通30年記念 水木しげると妖怪のなかまたち
令和6年度	4/1～5/30	青谷かみじち史跡公園開園記念～青谷上寺地遺跡から弥生時代を知る～
	4/1～4/29	大活躍！鳥取県関係力士～尊富士 新入幕優勝おめでとうございます
	4/15～10/9	NHK朝の連続テレビ小説「虎に翼」から鳥取県とのつながりを知る
	5/1～7/30	伊福部昭の音楽をふりかえる
	5/15～6/12	『蒼天の鳥』の母娘—「新しい女」田中古代子と千鳥の詩—

8/1～8/30	音楽をCDで楽しもう～新しいCDが入りました～
9/13～11/29	二十世紀梨導入120年～鳥取県と梨～
9/13～9/29	「松本薫氏講演会 私たちの「今」と生田長江一小説『火口に立つ。』から一」 (ボランティア企画講演会関連)
9/13～10/30	霊長類学者 伊谷純一郎の足跡を本でたどる
10/11～11/13	ねんりんピック はばたけ鳥取2024
10/16～11/3	佐治の民俗 (鳥取民俗懇話会発足30周年記念公開講座関連)
11/7～11/29	「宇沢弘文の社会思想『社会的共通資本』から学ぶ」 (ボランティア企画講演会関連)

**(3) 他館を会場にした資料展**

「鳥取県教育の父 遠藤董」わかさ図書情報館(4/19～5/31)、日南町図書館(6/7～7/5)

**2. 講演会・行事**

**(1) 鳥取県に伝わる昔話を聞く会 (定期開催)**

日 時： 毎月第4土曜日 午後2時から30分程度

語り手： 中嶋 須美子 氏

**(2) 郷土文化講演会「平安文学の人物像について - 史実に相照らして - 」**

日 時： 令和6年11月30日 (土)

講 師： 高橋 由記 氏 (流通経済大学教授)

**3. 研修・講座**

**(1) 新任図書館員を対象とした実務研修会 (継続)**

県内図書館の新任職員等を対象にした研修会。「本の正しい扱い方と郷土資料の活用法」を講義。

**(2) 図書館職員向け図書館業務専門講座+α (継続)**

- ・ 県立図書館及び市町村立図書館職員に向けて「くずし字」についての講義を行った。
- ・ 令和5年度は継続して図書館スキルアップ古文書講座を11月～3月の第3金曜日に開催。

**(3) 行政職員向け研修「図書館に学ぶ！1ランク上の情報収集講座」 (令和6年9月6日)**

鳥取県人材開発センターとの共催企画。県及び県内自治体職員の研修講座として「図書館を活用した情報収集講座」を開催。図書やインターネットを活用した情報収集、郷土資料の活用法についての講義を行った。平成18年度より継続開催。

**4. 外部との連携**

本庁知事部局の進める政策・イベント関連など、互恵関係のある展示を継続して開催している。

**5. 統計および資料保存の取り組み等**

**(1) 統計**

**利用状況 (郷土資料) 鳥取県立図書館のすがたより**

	貸出冊数 (一日あたり)	レファレンス
令和5年度	5,064 冊 (15.5 冊)	4,207 件
令和4年度	5,383 冊 (16.5 冊)	3,908 件
令和3年度	6,266 冊 (19.3 冊)	3,709 件
令和2年度	6,284 冊 (19.3 冊)	3,175 件

**蔵書冊数（郷土資料）**

令和5年度	156,685 冊（全蔵書の 12.3%）
令和4年度	153,818 冊（全蔵書の 12.3%）
令和3年度	151,710 冊（全蔵書の 12.3%）
令和2年度	149,415 冊（全蔵書の 12.3%）

※令和5年度 2,867 冊増加

（購入：436 冊 寄贈：2,247 冊 生産・その他：192 冊 除籍：8 冊）

**（2）郷土関係情報の収集およびデータ入力**

①図書、逐次刊行物等の収集

②郷土関係情報の入力・発信

- ・「鳥取県郷土人物文献データベース」の新規文献情報の入力
- ・図書、雑誌、研究報告書等の目次・論文名の入力
- ・ホームページの更新（展示・行事の広報、コンテンツの更新）

③郷土関係情報の収集

- ・新聞記事のスクラップ（地元紙・全国紙より鳥取県に関する記事をスクラップ）

**6. 新型コロナウイルスに関する対応**

- ・カウンター業務中、事務室等でのマスク着用は任意。

**7. 事例等報告**

（1）事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・特別資料展「平安時代の物語文学」では、とっとり県民の日の行事として約600人近い参加者にご来場いただき、当館所蔵の貴重資料（写本・刊本等）や日南町出身の池田亀鑑について、知っていただく機会となった。
- ・郷土文化講演会では、「平安文学の人物像について - 史実に相照らして」と題し講演会を企画中。平安文学の登場人物を取り上げ、理解を深める機会の創出を目指している。
- ・鳥取県を発信する企画展示など、社会的な課題を捉えて実施した。特に、日本人初の女性弁護士の一人である中田正子の展示は、関連資料の貸出や、とっとりデジタルコレクションに掲載中の郷土人物データベースなどのアクセスも多数あり、多くの方にご利用いただくことができた。
- ・鳥取大学など公的機関、県民活動による団体との連携により、地域に関わる歴史、文化事象を発信した。
- ・図書館職員向けくずし字講座の開催を継続して開催し、古文書等の解読に対する図書館員のスキルアップを図っている。また、テキストの解読成果をとっとりデジタルコレクション掲載コンテンツの翻刻用に活用している。
- ・郷土資料の水害対策について検討を始めている。